

# 静岡型 ICT 教育の推進について

## 1 第1回総合教育会議（7/31）で協議されたこと

### < ICT を活用した取組で大切にしたいこと >

- (1) これまで行ってきた教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教員や子どもの力を最大限に引き出したい。 **<新しい教育方法の導入>**
- (2) 中山間地小規模校や特別な支援を必要とする児童生徒等の多様な子どもを誰一人取り残すことなく、個別な最適な学びにより、資質・能力を確実に育成したい。 **<本市が抱える課題の解決>**



## 2 勉強会（9/9）で埼玉県戸田市から学んだこと

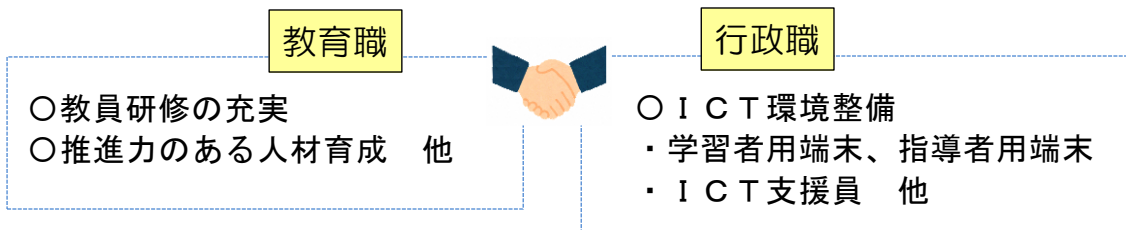
○ 「ICTをどう使うか」よりも「どんな学びが必要か」  
つまりは「**授業の改善にどうつなげるか**」ということ

そのために

- (1) ICTを授業改善につなげ、**誰一人取り残さず**資質・能力を育成する
  - ・ 答えが一つでない学び
  - ・ 子どもが探究心を働かせ 主体的に取り組む学び
  - ・ 価値ある協働的な学び
  - ・ 教科横断的学び
  - ・ 貢献意欲が高まる 社会と関連した学び



(2) **教育職と行政職のタッグ**で実現するサポート体制の確立



## 3 目指す静岡市ならではの ICT 教育

○ ICTを導入することで、**教員の授業力を高め、勉強が苦手な子のつまづき始めを見つけたり、得意な子がもっと進んだ内容を勉強できたりするなど、子ども一人一人の学習状況に応じた、より効果的な指導を実現する。**

- (1) ICTを活用した授業の実施、優良事例の蓄積、指導モデルの構築 **【施策1】**
  - ・ 優れた教材、事例の蓄積・共有を図ることによる授業の高度化
  - ・ スタディログ（学習履歴）やAIドリルを活用した学習で子ども一人一人の学習状況に対応
- (2) 遠隔による多様な人との交流・教育の実施 **【施策2】**
  - ・ 中山間地小規模校と市街地の学校を結ぶ遠隔授業
  - ・ 小中一貫グループ校による共同授業
- (3) 困難を抱える子どもへのICTを活用した授業の実施 **【施策3】**
  - ・ 特別な支援を要する子どもへの対応
  - ・ 不登校・別室登校の子どもへの実践研究
  - ・ 日本語指導が必要な子どもへの活用

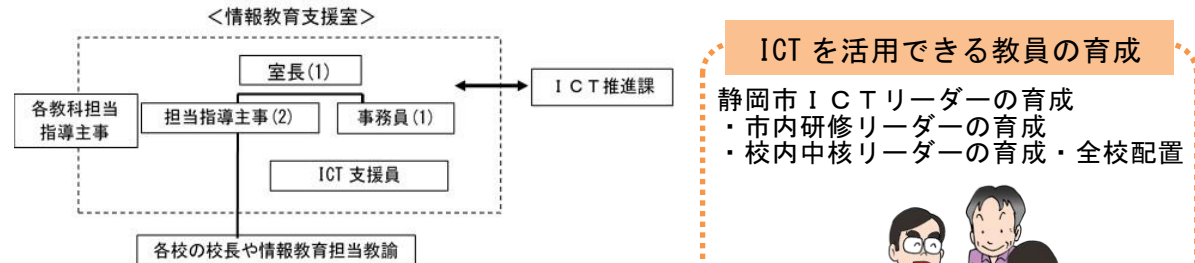


## 4 目指す教育の実現に向けた方策

(当面の目標) 「**全ての学校でICTを活用した授業に取り組む**」(令和3年度)  
「**全ての教員がICTを活用した授業に取り組む**」(令和4年度)

ICTを活用できる教育環境の整備 **【施策6】**  
 情報教育支援室（R3～8） **【施策4】**  
 ・ ネットワーク環境の強化と1人1台端末の整備  
 ・ 指導者用端末の配備

(目的) 全ての学校の各教科等でICTを活用した授業を展開し、子ども一人一人のニーズに応じた効果的な指導を実現するための支援を行う。



ICT支援員の配置（R3～8）  
 ・ 各校への巡回による教員への技術支援  
 ※ R3は小中一貫グループ校へ  
 1グループあたり週2回支援訪問

技術支援

ICTを活用できる教員の育成  
 静岡市ICTリーダーの育成  
 ・ 市内研修リーダーの育成  
 ・ 校内中核リーダーの育成・全校配置



地元大学との連携によるアドバイザーボードの設置 **【施策5】**  
 ・ 静岡大学、常葉大学等の情報教育、教育心理学等の専門家に要請